薬師寺東塔 和釘特別公開

千年の釘 発見??

平成26年
7月19日(土)→8月31日(日)

詳しくは薬師寺ホームページで!

薬師寺新聞

平成２６年
４月版

千年の釘が特別公開

奈良・薬師寺で夏休み特別展開催

奈良にある世界遺産の薬師寺で、夏休み特別展が開催される。

今年は「千年の釘」が展示されることが関係者への取材でわかった。

「千年の釘」はあの小学校五年生教科書の「千年の釘にいどむ」で紹介された釘で、教科書にある千年前の釘と、千年先まで使えるようにと作りなおされた釘がどちらも展示される。作りなおされた釘には、実際に触ってでこぼこを感じることができるとのことだ。

「千年の釘にいどむ」を学習する小学生は必見だろう。特別展では釘の他に奈良時代から薬師寺に伝わる金属製品が多数展示される。

展示される奈良時代の釘

体験コーナーも！！

さらに薬師寺の夏休み特別展では恒例の体験学習コーナーもある。今年は金属製品の作り方のひとつ、鋳造をお菓子作りで学ぶ「水煙グミ作り」と、彫金細工について学ぶ「飾り金具しおり作り」が体験できる。

鋳造(ちゅうぞう)とは熱くどろどろに溶けた金属を型に流して冷やすことで仏像などを作る方法。この技術をグミ作りから学べるという。

彫金(ちょうきん)は金属の板を彫って模様を付ける技術で金属板に模様を付ける体験をする。出来た板にはひもをつけてしおりにして、お土産にできる。

水煙グミ

担当する薬師寺の僧侶・加藤大覺さんは「本物の千年の釘を自分の目で見て、すごさを感じてほしいです。体験学習では身近なものを使って、奈良時代のご先祖さまたちがどんな苦労をしておお寺を建てたのか、少しでも感じてもらいたいですね」と話す。

薬師寺では小学校に、作りなおされた釘の無料貸出しもしているとのこと。学校での学習にも役立ちそうだ。

国宝・東塔からは釘が新発見

新発見された釘。いちばん長いもので約60㎝ある

さらに、現在解体修理が進められている国宝・東塔からも新しく釘が発見され、こちらも初公開される。

実は、教科書にある千年前の釘は、東塔が昭和二十年代に修理された時に発見されたもので、調査の結果奈良時代の釘と分かった。今回発見された釘も同じように奈良時代に作られた可能性があり、現在調査が進められている。

国宝・東塔の解体は現在も続いており、これからもっとたくさん釘が発見される可能性が高いという。夏休み特別展でも展示される予定だ。たくさんの千年の釘を見る最初で最後のチャンスになるかもしれない。

千年の釘か？

解体作業中に釘が発見された

法相宗大本山 薬師寺
〒630-8563 奈良市西ノ京町457
TEL 0742-33-6001
拝観料 大人500円 中高生400円
小学生200円 (8/13～15は特別料金)
http://www.nara-yakushiji.com/

後援：光村図書出版㈱ 協力：㈱カキモト